

科目名	初等英語			担当教員	加藤 拓由	
単位	2単位	講義区分			ナンバリング	ED2SRE216
期待される学修成果	基礎教養 教科教育					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭（講師含む）					
実務経験を生かした授業内容	小中学校現場での指導経験を生かし、英語教育の意義や教師の役割について講義する					
到達目標及びテーマ	小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の教材研究、教科指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付けることができる。					
授業の概要	小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な実践的な英語運用能力を、実際の授業場面を意識しながら身につける。また、小・中学校の接続も踏まえながら、小学校で外国語活動・外国語の授業を行う上で不可欠な背景知識（音声・語彙・文構造・文法・正書法）、第二言語習得の基礎理論、児童文学や異文化理解に関する事項等を習得する。					

授業計画	
第1回	第 1 回 Unit 1 小学校英語の変遷
第2回	第 2 回 Unit 2 英語の音声
第3回	第 3 回 Unit 3 発音と綴りの関係
第4回	第 4 回 Unit 4 英語の文構造・文法
第5回	第 5 回 Unit 5 英語の語彙 （第 1 回～第4回までの「学びのキーワード」小テスト実施）
第6回	第 6 回 Unit 6 第二言語取得に関する基本的な知識
第7回	第 7 回 Unit 7 児童文学（絵本）
第8回	第 8 回 Unit 8 児童文学（子供向けの歌や詩）
第9回	第 9 回 Unit 9 異文化理解
第10回	第 1 0 回 Unit 10 英語の書き方 （第5回～第9回までの「学びのキーワード」小テスト実施）
第11回	第 1 1 回 Unit 11 英語コミュニケーション（聞くこと）
第12回	第 1 2 回 Unit 12 英語コミュニケーション（読むこと）
第13回	第 1 3 回 Unit 13 英語コミュニケーション（話すこと）
第14回	第 1 4 回 Unit 14 英語コミュニケーション（書くこと）
第15回	第 1 5 回 Unit 15 英語コミュニケーション（領域統合型の言語活動）（第10回～第14回までの「学びのキーワード」小テスト実施）

事前学修	2時間	「学びのキーワード」について授業内で質問するので、テキストを熟読し、簡潔に説明できるようにしておく。 また、5回、10回、15回には「学びのキーワード」から抽出し小テストを行う。
事後学修	2時間	授業で学修したことや、グループで議論した内容をふまえ、「Discussion Topic」について400字以上でShort Reportを作成し、指定の期間内に提出する。
フィードバックの方法	教員は、UNIPAによる理解度チェックのためのレポートに点数を付けて提示する。学生からの質問やコメントに関しては、該当者にUNIPAまたはメールにてフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	45%	レポートの内容に応じて、0点～3点×15回で評価する
上記以外の試験・平常点評価	15%	学びのキーワードテスト5点×3回
上記以外の試験・平常点評価	40%	発表・ディスカッションの参加度による

定期試験		0%		実施しない	
補足事項		本授業は活動を体験したり、他の学生と議論したりすることで学びを深める。そのため、授業に積極的に参加し、仲間と交流し、毎回レポートを確実に提出する必要がある。その趣旨を十分に理解し、納得した上で受講すること。			
教科書					
書名		著者	出版社	ISBN	備考
小学校英語 はじめる教科書 (改訂 3 版)		吉田研作(監修) 小川隆夫・ 東仁美(著)	(株)mpi	978-4-89643-863-5	なし
参考資料		必要に応じ授業内で配布			